



神戸市会議員 安全・安心・活力あるまち神戸を

池田りんたろう 市会 News

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

平成二十七年 決算特別委員会

消防局審査から

地域住民による初期消火体制について

質 東京都新宿区では、火災危険度の高い地域から順に初期消火の資機材を配置しているようだが、神戸市の消火用ボックスの配置の考え方についてはどうか。

答 消防署から若干距離のある地域で、山麓部や道が狭くて消防車が駆けつけるのに少し時間がかかる地域に、資機材をボックスに入れて配備している。

質 資機材の取り扱い等についてどのように周知徹底しているのか。



初期消火用スタンドパイプ

答 広報こうべや地域の訓練などで行うとともに、火災が発生した時に、周辺の方に消防職員が広報している。
効果は、設置をしているところとしないところを比較すると、損害

答 防災福祉コミュニティを結成し消火資機材を配置しているほか、防災訓練などに積極的に取り組んでいただくよう、活動経費の一部を助成したり消防団が地域のリーダーになって、防災資機材の取り扱いの指導を行うなど、支援を行っている。

住宅用火災警報器について設置効果は非常に大きい

質 最近、住宅用火災警報器のことにあまり耳にしないが、広報の取り組みや市内の普及率はどうになっているのか。

救急救命士について

質 救急救命士の早期全市対応と救急救命士の技術向上に関する課題と今後の展望について伺う。

答 現在96隊中92隊でブドウ糖投与と心肺停止前の静脈路確保について運用している。また、気管挿管については96隊中9隊で運用している。共に、将来的には全救急隊での運用を目指している。

課題の一つは、ブドウ糖投与と心肺停止前の静脈路確保やビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管の運用をするために資格者の養成がある。
資格者養成には、ブドウ糖

額と焼損面積について、設置をしていないところの半分になっている。特に天ぷら火災に限ると1/20になる。



決算特別委員会で質問に立つ

投与と心肺停止前の静脈路確保については3日間の研修、気管挿管については、病院実習5症例を修了しなければならぬ。さらに、その前提として気管挿管については病院での実習30症例、薬剤投与については50時間を修了する必要がある。

質 年に10名程度養成しているとのことだが早期に全市対応の体制をとるために養成人数を増やすべきだ。

答 救命士の資格を取るまで7か月学校へ入って研修を受けなければならぬ。あまり職員を研修に抜くと警備体制が取れない

要望 早期の全市対応に向けて体制を強化されたい。

市政のご相談はお気軽に

池田りんたろう

事務所

〒651-1302
神戸市北区藤原台中町1丁目6番
TEL 078-982-1177
FAX 078-981-1801

民主こうべ政策議員団
TEL 078-322-5844
FAX 078-322-6161